



他のも教えて。



経常収支比率とは、町税など、毎年決まって入ってくる収入の中から、義務的経費や公共施設の維持管理経費など毎年固定的に支払わなければならない経費の割合のこと。全国的に財政が厳しいため、90%を超える自治体も多いようなの。

実質公債費比率とは、町の収入に対する負債返済の割合(過去3年間の平均)のこと。前年度と比べ上がっているけど、18%以上だと新たな借金をするためには国や県の許可が必要ということから、これも心配ないね。

将来負担比率とは、貯金や見込まれている収入に対し、将来負担する借入金の残高などの割合のこと。市町の早期健全化(イエローカード)の基準は、350%なので、これも心配ないね。

監査委員からの提言

◎一般会計、特別会計の審査より

財政諸指数は良好な状態。

- 1 今後も、深刻化する少子高齢化への対策を始め、後期高齢者医療に係る給付費、建設費、企業会計への負担金など今後も高い水準で経費負担の見込みが。既存の経常経費の節減に努め、特定財源の確保や基金の見直しなど絶え間ない取組で、更なる適正な財政運営を。
- 2 多様化する町民ニーズや社会情勢の変化を的確に把握し、事業の必要性や目的を明らかにし、業務改善や事務事業の再編・整理を行うなど、さらに深化させ、課題の抽出、新たな視点や柔軟な発想による改革を。
- 3 デジタル技術やデータを活用した住民の利便性の向上とともに、デジタル技術等の活用により業務の効率化を。人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げ、費用の妥当性や業務の汎用性の可能性を点検できる組織運営を。
- 4 新たな行政課題や社会情勢の

変化に的確な対応が求められる。第5次総合計画の施策及び公約実現のため、地方公共団体として自主性及び自立性を十分に発揮し、町民とともに知恵と力を出し合い、生きる喜びあふれるまちづくりを強く期待。

◎水道事業会計の審査より

- 1 収益的収支は、純損失に。今後も、給水人口の減少が見込まれる。さらには厳しい状況が予想される。経常経費の削減や水道料金の徴収向上など経営改善に向けた取組を。
- 2 配水管の新設・改良工事に加え、今後も、浄水場施設など計画的な建設に伴う資本費増の見込みが。効果的な運営を目指し、長期的な財政計画に基づいた安定的な経営を。
- 3 料金回収率は、改善しているものの、事業に必要な費用が給水収益で賄いきれていない状況が続いている。将来の更新需要にも備え、水道料金の見直しを含めた経営改善を目指す計画の早期策定を。
- 4 経営戦略の基本方針に基づいた計画的な経営と経営環境の変

化に対応する質の高い見直しにより、将来にわたって安定的な事業継続を。

◎下水道事業会計の審査より

- 1 収益的収入には、一般会計が負担する経費が含まれている。今後も、適正な経費負担区分を前提とした独立採算の原則に立ち、経営の健全化を。
- 2 事業計画内未整備地区の管渠新設工事の計画的な推進により、整備率・普及率を伸ばしている。一方、整備区域の拡大に伴い有収水量は増加するものの、下水道使用料の現年度分収入が減少し、未収納額は増加する状態に。収益の基盤である下水道使用料を徴収できるよう整備済区域における未接続世帯の早期接続の促進を図り、より適切な運営に向けての経営努力を。
- 3 経営戦略の基本方針に基づいた事業推進に努めるとともに、決算分析や社会状況の変化を捉えた事後検証を行うことにより、将来にわたっての安定的な事業継続を。